

2020年2月末現在

組合員 4233人

出資金 1億6181万円

1～2月の動き

組合員 新規加入13人

退会17人



西濃医療生活協同組合

医療生協

げんき

第115号

2020年3月10日発行

(奇数月発行)

〒503-0982 大垣市久徳町153-1

TEL 0584-92-3268

ホームページ seinou.coop

編集 機関紙編集委員会

第7回組合員活動交流集會に72人参加



あなたにとって安心して暮らしていけるか？

「一人暮らしだけど、医療生協の班会に参加して友達もでき楽しく過ごせるようになった」「仲間と寄り合える場所があることが安心して暮らしていける」「さまざまな相談ができる窓口がほしい」「お金に心配なく医療や介護にかかれる制度であること」など意見や感想が出されました。

今年で第7回を迎えた「組合員活動交流集會」を1月26日(日)、宇留生地区センターで開催しました。今回は「あなたにとって安心して暮らしていけるか？」をテーマに、小グループに分かれて話し合いをもちました。

最初に、2つの支部から班づくり・班会の様子の発表、事業所としては、介護支援センターからケアマネージャーの仕事と役割、診療所から「健診」と「検診」の違いと診療所での利用状況をふまえて、かかりやすさなど今後の課題について発表がありました。

後半は、9つの小グループに分かれて、演題発表に関する質疑やテーマにそった話し合いが行われ、これからの活動に活かしていける交流集會になりました。

せいりゅう

国会での「桜」問題、「検事総長の定年延長」問題など様々な報道がある中、新型コロナウイルスがその中心となつていいます。国内でも感染が拡大し、お亡くなりになった方もおられます▼そもそも新型コロナウイルスは古くからどこにも存在しており、その形状が王冠(ギリシャ語でCORONA)の形に似ていることでその名がついたそうです。国立感染症研究所によると、一般的に「風邪」といわれる中の10～15%程度がコロナウイルスによるものですが、ほとんどの場合重症化せず自然に治癒します。以前流行したSARS(重傷呼吸器症候群)やMERS(中東呼吸器症候群)もコロナウイルスの一種ですが、これらは動物(コウモリやラクダ)から人に感染したことで発生し、非常に重症化しやすく世界中で多数の死者を出したことは記憶に新しいところ▼さて、今回の新型コロナウイルスですが、こちらも動物から人への感染が原因と言われています。しかし非常に高い致死率であったSARS(約10%)やMERS(30%以上)とは異なり、WHOの報告では新型コロナウイルスによる致死率は2%程度(重症化率は5%程度)とされています。とはいえ、楽観視はせず重症化しやすいとされる基礎疾患をお持ちの方や高齢の方は特に十分な注意※予防が必要でしょう▼

では、予防のために出来ることは何か?ということですが、基本的にはインフルエンザ等のウイルス対策と同じです。人混みを避ける、手洗い・うがい(苦手な場合は飲水可)の励行が基本です。アルコール系の消毒薬も有効です。直接コロナウイルスを治療する薬は現在ありませんが、抗インフルエンザ薬や抗HIV薬等も試されているようです▼最後に、もしもの時は?ということですが、現状ではしずさと診療所を含む一般の医療機関で対応出来ない状況です(2月27日時点)。まずは相談窓口となる西濃保健所(0584-73-1111)に連絡していただき、その指示に従って対応可能な医療機関に受診していただくこととなります。こんな時こそ冷静に正しい情報を見極めて対応していきましょ。

中村英洋

組合員活動交流集会 参加者の感想や意見から

理事長あいさつのあと、柄澤所長から、長谷川医師退職と当面の対応、今後の医師確保について報告がありました。長谷川医師が赴任して10年間、当診療所の医療活動に多大な貢献をされ、退職される影響は計り知れないが、やむを得ないものと判断し、現在、医師確保に取り組んでいると報告がありました。

このあと、4つの演題発表を聞き、9つのグループに分かれて、組合員と職員が交流し、演題発表やテーマに関



【発表演題】

- ① 班活動が居場所になっていると
いう実感 大垣南支部
- ② ケアマネジャーの仕事と役割に
ついて 介護支援センター
- ③ けんしん制度としずさと診療所
の現状と課題 しずさと診療所
- ④ 安八町に初めて班会をつくって
神戸支部

する意見等を出し合いました。以下、感想とご意見の一部を紹介します。

・皆さんの「今のくらし」の思いをたくさん出してもらいました。

・職員さんからのお話もとても参考になりました。

・支部をこえての班会参加アピール素敵でした。

・職員の仕事に対する理解が深まりました。検診はもとより健診の増加に力を注ぎたい。

・組合員健診について今回初めて知ったという方がみえた。広報活動は大切と思った。

・介護保険について相談する場所、費用などを知らない方がいることを知った。もっと多くの方に相談できる場所がどこにあるか知ってもらう必要があると思った。

・今日のテーマ「あなたにとって安心：」でしたが、老人2人暮らしにとっ

遊びを取り戻せ

こどもと教育フェスティバル

2月11日、中川ふれあいセンターで、「第27回西濃子どもと教育フェスティバル」が開かれました。

ここ3年間で、「あそび」をテーマに、子どもの発達について交流し考えてきています。参加は、135名（子ども35名、大人100名）でした。

今年は、塩崎美穂さん（日本福祉大学子ども発達学部准教授）を講師にお迎えし、「人間らしい遊びと暮らし」なぜひとはあそぶのか」を演題としてお話していただきました。



講演に先立って、はだしこ保育園、プレイパーク緑の風、どろんこ子どもクラブから今の子どもたちの様子についての報告もありました。午後には、塩崎さんを囲んでの座談会が持たれました。

では心配なことばかり。
・ケアマネジャーの仕事、診療所の現状と課題のお話し、よくわかりました。

・参加して元気が出た。
・組合員の皆様の努力が伝わり、結果

ばいいんだろう、いやいや、子どもは遊ぶんです、学生と保育園に行ったときにも、遊ばせるつもりでゲームなんかやっている、子どもから「ねえ、もう遊んでもいい？」なんて、ね。遊ばせるんじゃないかって、子どもは遊ぶんです。

協調性って大事？子どもたちの輪になかなか入らないけど、みんなのやっているのを見ていて、やりたいと思えば自分もそれをやりだす。いつもはひとりでも、自分の興味から関係性を持つとすると、それも関わり方の一つ。それも子どもの発達のプロセス。

異年齢集団での、例えば鬼ごっこ。小さい子は見つけても見えないふりをして鬼にならないようにしてる。そういう配慮を大きい子がして、一緒に遊ぶ方法を見つけていく。そういう中で自然と自分たちの仲間づくり、ルールづくりをやっていく。「みそっかす？ やっかい者？」という小さい子も一緒にいるからこそその集団なんですよ。それにしても、子どもたちの遊べる環境が奪われいく現代。大人にとっての課題は子どもが自由に遊べる場をつくりだすこと。そう感じた一日でした。

高木正一

につながっていることがわかりました。組合員同士のつながりは大切だと感じました。

・長谷川医師の退職に驚いた。大変に残念だ。診療所医師の忙しさを解消できるとお願いしたい。

西支部班会「楽しく広場」

皆で学び、皆で食しませんか

2月13日、今回のテーマは「見えてくるのに...」。見間違いや見落としからくる交通事故や転倒は老人だけの問題か、眼球の老化か。否、今流行のスマホの細かい文字や動画を見続けていると、目だけでなく、脳が疲れ、子どもや若者たちも事故を起こす。時あたかもその日の「ためしてガッテン」でも「転倒防止に小脳を鍛える必要がある」と報じていた。脳の



鍛錬に良いのが「昔の遊び」で、毬つき、お手玉、剣玉等動く物を追う遊びである。脳は鍛えれば強くなる。止めれば退化する。

さて、大切な講座の後は皆で焼いて皆で食したお好み焼き。「皆で食べると美味しいねえ」。三枚目にもなると焼き具合もバッチグー。

次の講座のテーマは「ツボ押し」。今や世界でも話題になっている『続東洋医学』を学ぶ。後のお楽しみはお汁粉か、焼きそばか、外郎か。

毎月第2水曜日9時半より南徳光公民館で開催している。近所の人も遠くの人でも大歓迎。一度参加してみてください。日頃の悩みの質問にも長谷川賢治先生が答えてくださいます。

健康委員会主催
岡野先生を囲む
健康座談会に参加して

1月18日にしずさと診療所で行われた「失神について」の健康座談会に参加しました。

皆さんの関心の高さの表れか、53名の参加者で待合室がいっぱいになるほどでした。

失神は主に脳の血流が滞ることによって起きるもので、失神に遭遇したらまず呼吸と脈拍を確認すること。

呼吸していても10分経って意識が回復しない場合は救急車を呼ぶことなど、具体的な内容のお話でとても参考になりました。

失神を防ぐには、ゆっくり立ち上がる、脱水を避けるなど、日常生活でのアドバイスもあり皆さん熱心に耳を傾けていました。

今まで私は岡野先生の診察を受けたことがなかったのですが、先生のお人柄を知る良い機会にもなりました。

揖斐支部 松岡律子



赤坂支部

ヨガ班会をやってます



ヨガは難しいという先入観があった私は、積極的に参加することはありませんでした。でも今は月に1回のヨガが待ち遠しいのです。

赤坂支部のヨガ班会が始まって4年になります。

20畳程の部屋がいっぱいになり、時にはお隣さんとぶつかることもあります。先生の無理をしないという言葉に甘えて自分のできる範囲で楽しんでいます。

続けることによって、できなかったことができるようになり、先生や仲間感謝です。そして家ではテレビを見ながらでもできる簡単なヨガ体操をして元気がありたいと思っています。

大谷

健康サロン

「ケアマネジャーのお仕事」

昨年11月と今年1月の2回にわたり、健康サロンにてしずさと介護支援センターのケアマネジャーの柿木さんと浅野さんに来ていただき、知っているようで知らないケアマネジャーのお仕事の内容についてお話をさせていただきました。

ケアマネジャー（介護支援専門員）の仕事とは、要介護もしくは要支援状態の方の状況に応じて適切に介護サービス等を受けることができるような計画作成や連絡調整を行うことです。実際にかかわった人の例をもとに、生活および身体状況の変化や苦情の対応、サービス事業所との連絡や相談等の対応について詳しく説明していただきました。

あまりにも仕事の内容の幅が広く、本人、家族、役所、医療・介護事業所等かわる期間や関係者の多さにびっくりです。大変な仕事であることを実感することができました。また、自らの体験からこの仕事を選んだいきさつや仕事に対する思いや姿勢について話され、この仕事にしっかり取り組んでおられることを知り、心強く思いました。

最後に3人ずつのグループに分かれ、生活や介護にかかわる内容のカードを持ち、色々引き換えながら自分の思いや考えを出し合っ



講師の柿木さん、浅野さん、ありがとうございました。

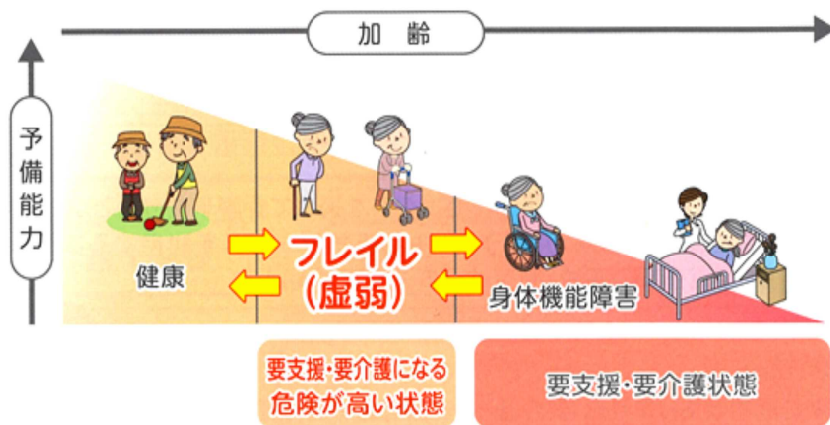
宇津時雄

フレイルについて

しずさと診療所 リハビリテーション部門 理学療法士 堀井聡至

フレイルとは、年をとって活力（筋力、認知機能、社会とのつながり等）が低下し、虚弱となった状態をいいます。健康と病気の間ともいわれ、高齢者の多くは『フレイル』の段階を経て要介護状態に陥ると考えられています。しかし、適切な取り組みをすれば機能を回復できる時期でもあります。

次号では、フレイルにならない為の対策法をお伝えします。



サルコペニアをチェックする「指輪っかテスト」

椅子に腰掛け、ふくらはぎのもっとも太い部分を両手の人差し指と親指で輪をつくって囲む。

太くてつかめない → 大丈夫

ぴったり囲める → 要注意

囲めて隙間ができる

→ サルコペニアの兆候あり



参考：東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢准教授資料

フレイルチェック

次の5つの項目の中で、あてはまる状態はありませんか。該当する項目が多いとフレイルの疑いがあります。

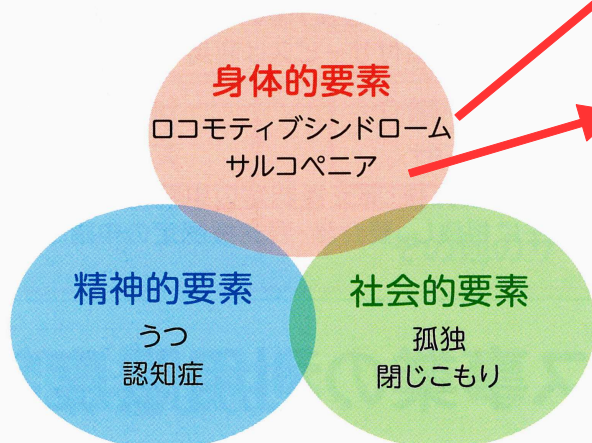
- ① 1年で体重が4～5kg減った。
- ② 疲れやすくなった。
- ③ 筋力(握力)が低下した。
- ④ 歩くのが遅くなった。
- ⑤ 身体の活動量が減った。



1～2項目該当 ⇒ プレフレイル

3項目以上該当 ⇒ フレイルの疑いあり

フレイルの要素



【ロコモティブシンドロームとは・・・】

運動器の障害のため、歩行や立ち座りの日常生活機能が低下した状態。

【サルコペニアとは・・・】

筋肉量が減少することで、全身の筋力低下や身体の機能の低下が起こること。

フレイルを予防するには、**栄養(食・口腔)**、**運動**、**社会参加**の3つが重要です。

社会とのつながりを持ち、外出の機会を増やしましょう。



日本医療福祉生協連 中部ブロック

方針討論集会開催

全国105の医療生協、福祉生協が加盟する日本医療福祉生活協同組合連合会では、活動のふりかえりと新年度に向けた活動方針を討論する集会を、毎年2月にブロックごとに開催しています。

西濃医療生協が属する中部ブロックは、北医療生協、南医療生協、みえ医療生協（以上名古屋市中）、みえ医療福祉生協、浜北医療生協（浜松市）、福井県医療生協、金沢医療生協、富山医療生協の9つの生協があります。

中部ブロック方針討論集会は、2月11日（火祝）、敦賀市福祉総合センターにて開催され、63名が参加。西濃医療生協からは、木村理事長、松岡専務、中尾・長屋常務理事が参加しました。

日本医療福祉生協連・片山専務から基調報告として、2019年度活動のふりかえりと2020年度方針案および2030年ビジョン案が報告されました。「協同の力で、いのち輝く社会をつくる」を中心テーマとし、「でかける・つながる・安心を結ぶ」「2030年ビジョンをみんなのものに、暮らしを支える事業と運動を広げる」「日本国憲法を活かし、人権が保障される平和な社会の実現に貢献する」と

いう3つのサブテーマを具体化する方針が提案されました。

情勢認識では、国民生活基礎調査の結果を示しながら、「生活が苦しい」との意識調査では高齢者世帯が55・1%、児童のいる世帯では62・1%に及ぶこと、また所得分布では、62・4%が平均所得551万円に及ばないという調査結果を紹介し、貧困と格差の拡大が進んでおり、3つのサブテーマを实践していくことの大切さが強調されました。

基調提案やグループ討議の中で、これからの活動の参考になった事例が多くありました。その中でも私たち西濃医療生協でも取り入れるとよいと思ったのは、鳥取医療生協が実践した相談員養成講座です。支部で「なんでも相談活動」をすすめるために、昨年75名の相談員を誕生させた活動の紹介がありました。自作テキスト「なんでも相談ブック」を活用されたそうです。相談活動で大事なことは、専門的なことは専門家につなぐことです。

また、「おたっしや健診結果返し会」から、班づくりや事業利用増につながったという実践です。おたっしや健診項目は問診、血圧、体脂肪、握力、5m歩行、開眼片足立ちの6項目です。「塩分チェック問診」は地域の課題が見えるきっかけになっていることがあげられました。

そして組合員訪問では、職員さんが年に1回組合員と一緒にすることや、職員が講師として班会に出かけるメニューがあり、その時に参加者が日頃の不安などを相談するケースもあるそうです。

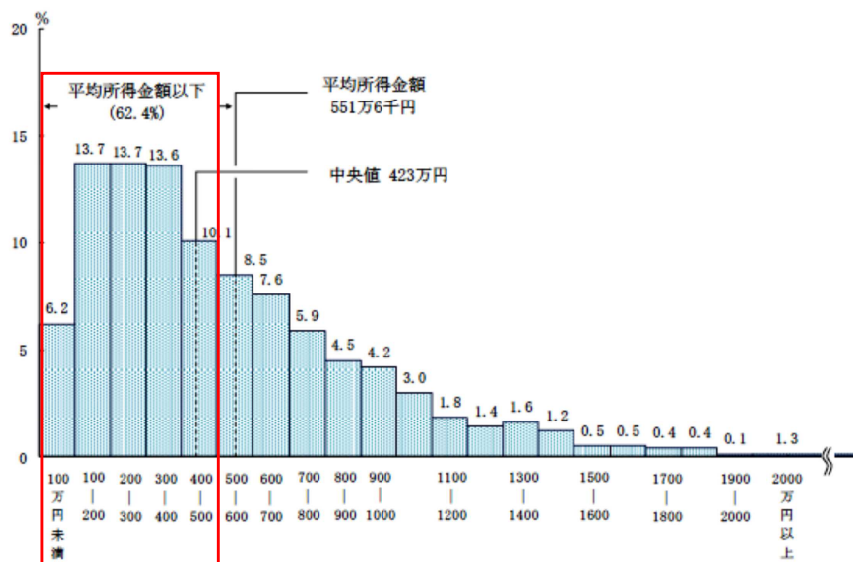
富山医療生協の「たすけとクラブ」では、専門的な依頼の場合にはコープの事業所などの紹介もしてつなげていくそうです。担い手については、どの医療生協も同じですが、組合員の高齢

化で新しい方に入っていたことができない悩みがありました。

最後に2020年度の重点課題の一つ「誰一人取り残さない・取り残されない社会の実現をめざします」について、生活不安の中、医療生協として地域で運動をしながら実現させようと意見が一致しました。

長屋由利子

所得金額階級別世帯数の相対度数分布



赤線の囲みのように、「100～200万円未満」及び「200～300万円未満」が13.7%、「300～400万円未満」が13.6%と多くなっており、平均所得金額（551万6千円）以下の割合が62.4%となっている。（厚生労働省が昨年7月に公表した政府統計「平成30年国民生活基礎調査の結果」より）

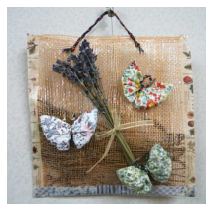
不破支部健康講座 香りのタペストリー作り



2月22日、垂井町府中地区まちづくりセンターにて開かれ、11名が参加されました。
長野で収穫されたラベンダーを使って、優しさに包まれた作品ができあがりました。

ハーブの香りが広がる教室で先生の作品を拝見し、制作手順を聞きました。慣れない針仕事で、針に糸を通すところから始まり、おしゃべりしながらの作品作り。次第に肩に力が入ります。優しい先生がタイミングよくハーブの効能を話し、そつとお茶と手作りクッキーを差し入れてくださいました。10センチ程の細い紐を三つ編みにし、両端を結びます。裁断済みの布を袋状に縫い、ハーブを詰め、編み紐で布

の中央に巻き付け、蝶の触角と目を表現し、布の四隅を羽の形に見立てます。先生の親切な指導のおかげで、不器用な私でもかわいいタペストリーが作れました。帰って孫に見せたら、「かわいいね」と笑顔を見せてくれました。
参加させていただきありがとうございます。
澤頭みどり



中央支部 新春のつどい開催 20人の参加で大盛況

2月6日、スクエアステップ班会を16人の参加で元気に終了した後、会場を美濃の郷に移して和室貸し切りで、「げんき」配達と健康まつりのご苦労さんを兼ねて新年のつどいを開きました。20人が出席してくださいました。

杉山支部長の心温まるご挨拶に引き続き、ご馳走をいただきながら参加の全員が近況を報告し、日頃の支部の班やたまり場活動の交流もできて豊かな内容のあるひとときとなりました。

お楽しみは豪華(？)福引でした。いろはカルタの上の句を受け取り、その下の句についた景品を受け取るという脳トレゲームを兼ねた企画でした。上の句「鬼に」は下の句「金棒」となり、誰でも知っていますが、「文(ふみ)はやりたし」という上の句に「書く手は持たぬ」という下

の句はなかなか難問でしたが、会場から「いろはカルタも勉強になるね」の声が聞けて大好評でした。景品も中身を見せあったり、交換したりして喜んで受け取ってくださいました。最後に「今は八十 まだ八十」「(「汽車」の替え歌)を全員で元気に歌って盛り上がったところで散会となりました。大橋保子

歌詞紹介

一、今は八十 まだ八十

白髪やしわは増えたけど

足腰鍛えて外に出て

頭も使ってボケ防止

二、今は九十 まだ九十

まだまだ体力造りましょう

散歩にカラオケ野良仕事

動き続けて元気よく

三、今は百歳 まだ百歳

笑顔と感謝を忘れずに

皆と仲良くすごしましょう

長寿の横綱めざしましょう

424病院への再検証要請を撤回し、 地域医療の拡充を求める署名のお願い

財務省は医療費を抑制するために、厚労省に対して「病床削減」をすすめるように求めました。厚労省は2019年9月、424の公立・公的医療機関について「再編・統合の必要性がある」と公表しました。そのリストには、地域にたった1つしかない病院もありました。安心して暮らしていけるよう地域の医療を守るためにも署名をお願いします。

新入職員紹介

しずさと診療所看護師 子安 祐子



2月1日から診療所に入職しました。診療所を受診される患者様が健康を取り戻し、笑顔で毎日を過ごすことができるようお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。お願いします。

しずさとたすけあい通信

「たすけあい」と「福祉輸送」の 担い手を募集しています

「たすけあい」は組合員同士で活動しています。この「たすけあい」を通じて、昔はご近所同士で当たり前のようであった助け合いの輪が医療生協の中で広がっていくことを目標にしています。各支部でコーディネーターを作り活動をやすくし、小さな困り事に応えられるよう担い手を募集しています。担い手登録は随時行っています。

「福祉輸送」は、要介護、要支援の方を対象に病院への送迎やスーパー等への送迎を行っています。まだまだ担い手が足りません。講習会を二日間受講後担い手登録をお願いします。(講習代は法人が負担します。) 詳細はお問い合わせください。

どちらの活動も休日や空いている時間など都合に合わせて行うことができます。まずは左記までお気軽にお電話ください。

ご利用・担い手登録のお問い合わせは
電話 080・3645・3268

健康委員会主催
介護フェアに参加して

2月19日(水)

健康委員会主催による介護フェアが北地区センターにて行われました。

当日は天候にも恵まれ60名ほどの参加がありました。

や介護ベッド、電動カートや介護食、杖や靴などの展示がされ、それぞれのブースで業者の方により用具の使用方法的説明を聞いたり、触ったり、乗ったり、食べたりとさまざまな体験をすることができました。

私も電動車イスに試乗してみました。

操作は思ったより簡単で、前後左右自由に移動でき、自分で移動困難の方には大きな助けとなるのではないかと思います。5センチ程の段差はOK。もちろん



安全面でも考慮されているとのことでした。

また、こぼれないように工夫された皿やスプーン、ペットボトル

や缶の蓋が簡単に開けることができるものなどアイデア商品が展示されていました。水洗式のポータブルトイレにもびっくり。尿や便を固めてゴミに出すことができるものもあるとの話を聞き、介護の現場も日々進化しているなど感じました。

自分には関係ないと思っていても、私の年齢にもなればいつ介護に関わることになるか、また要介護状態になるかわかりません。その時になってパニック状態にならない

ために、日頃より介護に関することや福祉用具のことがな

高木孝子

西濃南部支部健康のつどいは
延期になりました。

3月21日に予定しておりました心臓血管外科医の岡野先生の座談会は、新型コロナウイルスの影響を鑑み残念ながら延期にいたします。

健康委員会からのお知らせ

皆さん、健康チャレンジ続けていらっしゃいますか？
栄養、睡眠、運動（家の中でもできることでOK）に気を付け、快適な状態で過ごしましょう！！チャレンジカードの提出期限は4月30日です。

2月19日の介護フェアにご参加くださりありがとうございました。業者さんも多数出展され丁寧に教えていただきました。

また3月に予定しておりました救急救命初心者コース講座は、時節柄、延期を決定いたしました。今後の開催については、詳細が決まり次第お伝えします。

無料 くらし何でも相談会

多重債務（破産・再生・任意整理）、離婚・親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談

日時：4月9日(木)

午後1～3時

5月21日(木)

午後1～3時

場所：しずさと診療所内

○相談時間：30分

○事前申込みが必要です。

本部電話 0584-92-3268

不破支部 健康講座 お料理教室

日時 3月28日(土)9:30～

場所 関ヶ原中央公民館婦人の家

講師 長谷川由美子さん

会費 300円

メニュー 肉まん、にんじんプリッツ

※材料の準備の都合上3月21日までに

お申し込みください。

申込先 伊藤 22-5719

藤墳 23-0147



グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

実施日 3月17日(火) 27日(金)
4月未定
時 間 いずれも13時集合 13時30分開始
場 所 三城公園 ソフトボール場
問合せ・申込み先 河村秀一 090-5450-3227

**診療所・介護事業所の草取りボラに
皆さまのご協力をお願いします**

■日時 3月15日(日)8時～ ※雨天の場合は3月29日(日)
■集合場所 しずさと診療所
■問合せ先 正岡礼子 0584-27-5957

ウォーキングの会

日時 3月23日(月) 雨天中止。今後は順延しません。
行き先 願成寺古墳群巡り

池田山の6～7世紀に造られた願成寺古墳群横穴式石室の円墳を見学します。霞間ヶ溪から大津谷公園までのウォーキング(往復約8km)で、美濃の国守護・土岐一族の墓や菩提寺にも寄ります。桜も楽しめるかもしれません。

集合場所 教育会館 8時30分
しずさと診療所 8時30分
池田中央公民館 9時00分
持ち物 弁当・水筒・雨具・防寒具
登山靴または運動靴で
会費 200円+交通費200円
問合せ先 杉野茂樹 0584-34-1817 (朝のみ)
梅村民雄 0584-34-1403
090-4232-9057

神戸支部**お花見のお誘い**

日時 4月1日(水) 11時～
集合 神戸町ふれあいセンター駐車場
会費 500円(弁当代)
輪中堤の桜の下を散策してセンター多目的ホールでお食事、おしゃべり、ゲームをします。
申込みは、3月25日までにお願いします
問合せ・申込み先 正岡礼子 0584-27-5957
古橋和仁 080-1596-3792

山楽会

日時 3月9日(月) 雨天の場合12日(木)
行き先 滝谷山(398m・中程度)
今年最初の登山。大野町運動公園登山口から森林浴コース、城郭探索コースを登ります。頂上まで片道3km(上り2時間、下り1.5時間)
集合場所 教育会館 8時30分
しずさと診療所 8時30分
池田町中央公民館 9時00分
大野町運動公園 9時30分
持ち物 弁当・水筒・雨具
防寒具・ストック
会費 200円+交通費200円
問合せ先 梅村民雄 0584-34-1403
090-4232-9057
杉野茂樹 0584-34-1817 (朝のみ)

しずさと診療所 診療案内

内科・外科・整形外科・リハビリテーション

※1 木曜日の第2診療室

第2・4を岡野医師が担当します。

※2 金曜日の第2診療室

柄澤医師が隔週で検査(胃カメラ・エコー)と外来診療を行います。

※3 土曜日の診療

第1・3は岡野医師が担当します。
第2・5は柄澤医師が担当します。
第4は松井医師が担当します。

※これまで水曜日夜に行ってきた柄澤医師の予約診療は終了します。

※長谷川医師退職により、4月以降は下表のように診察担当医が変更になります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、引き続き医師体制強化を行っていきますので、変更の都度お知らせいたします。

		月	火	水	木	金	土
8～9時	検査	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	
9～12時	第一診療室	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※3
	第二診療室		鷲見		※1	※2	
14～17時	訪問診療	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤 岡野	柄澤 阿川	
17～19時	第一診療室	柄澤		泉		阿川	

<医療・介護のお問い合わせは>**▼しずさと診療所**

電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169
〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311
〒503-0981 大垣市松町706

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151
〒503-0981 大垣市松町1452

・介護支援センター 0584-93-1171
・デイサービスセンター 0584-93-1172
・訪問看護ステーション 0584-93-1173
・ショートステイ 0584-93-1175